

# **はこだて国際科学祭2010 実施報告書**

サイエンス・サポート函館

## はこだて国際科学祭2010

テーマ「食の未来を函館から考える」

会期：2010年8月21日（土）～29日（日）

会場：北海道函館市内3地区、路面電車および市内図書館

[西部地区]

函館市地域交流まちづくりセンター

[五稜郭地区]

函館市中央図書館、五稜郭タワー・アトリウム、函館市総合保健センター、函館市青年センター

[湯の川地区]

函館市民会館、函館市営熱帯植物園

[路面電車]

函館市電 貸切電車アミューズメントラム

[図書展示施設]

函館市中央図書館、公立はこだて未来大学情報ライブラリー、函館工業高等専門学校図書館、函館大学図書館、北海道教育大学付属図書館函館館、北海道大学水産学部図書館、ロシア極東国立総合大学函館校図書室

※函館市中央図書館は五稜郭地区の他プログラム実施会場と重複、北海道教育大学附属図書館函館館では函館短期大学図書館資料を共同展示

主催：サイエンス・サポート函館<sup>†</sup>

後援：文部科学省、北海道、函館市教育委員会、北斗市、北斗市教育委員会、七飯町、七飯町教育委員会、ブリティッシュ・カウンシル、北海道新聞社、函館新聞社、朝日新聞社函館支局、日本経済新聞社函館支局、毎日新聞函館支局、読売新聞函館支局、NHK函館放送局、HBC函館放送局、STV函館放送局、HTB函館支社、UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道、NCV株式会社ニュースメディア函館センター、函館山ロープウェイ（株）FMいるか、（社）函館国際観光コンベンション協会、函館商工会議所、財団法人函館地域産業振興財団、一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

<sup>†</sup>サイエンス・サポート函館の事業は平成22年度まで独立行政法人科学技術振興機構「地域ネットワーク支援」を受けて実施しています。

企画名 国際交流都市函館の地域ネットワークを活かした科学文化の醸成

提案機関 函館市

運営機関 公立はこだて未来大学

参加機関 函館工業高等専門学校、北海道教育大学函館校、北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部、キャンパス・コンソーシアム函館、函館市地域交流まちづくりセンター、南北海道学術振興財団、青少年のための科学の祭典函館大会実行委員会

実施組織 サイエンス・サポート函館

## 目 次

01.	はじめに .....	04
02.	はこだて国際科学祭2010実績 .....	05
2-1	入場者数, イベント数, 広報	
2-2	前回からの展開と広がり	
03.	実施組織「サイエンス・サポート函館」 .....	07
04.	はこだて国際科学祭2010の特色 .....	08
4-1	はこだて国際科学祭の特徴的な試み	
4-2	イベントレポート「サイエンスクリアーカー」のつくり方	
05.	はこだて国際科学祭への出展方法 .....	10
06.	収支報告 .....	11
07.	ウェブサイトの紹介 .....	12
08.	はこだて国際科学祭を支える活動 .....	12
09.	今後の予定 .....	13
10.	連絡先リスト .....	13
	はこだて国際科学祭2010プログラム .....	14
	はこだて国際科学祭2010ご協力者一覧 .....	16

# 01. はじめに



五稜郭タワーアトリウム会場の科学屋台2010



'おいしく、食べる'の科学展 巡回展



サイエンスライブ2010[ビールを科学し、JAZZを味わう]

はこだて国際科学祭は毎夏、9日間の会期で北海道函館市において開催される科学のお祭りです。映画祭や音楽祭のように、地域の文化的な催しとして楽しむ総合的な科学イベントとして2009年8月にスタートしました。

スローガンは「科学を文化に」。

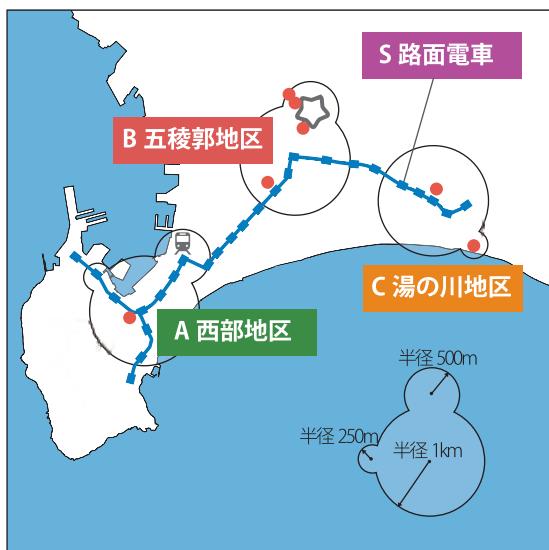
市民の日常的な生活の中に科学が文化的活動として根付いていくことを目指します。観光都市、交流都市である函館の先進的な試みとして、はこだて国際科学祭を実施していきます。

2回目の開催となつたはこだて国際科学祭2010では、「食の未来を函館から考える」をメインテーマに、専門家を招いた講演会やサイエンスカフェ、展覧会など、食に関連した多数の関連した催しを盛り込みました。私たちにとって身近な話題である食を切り口に、科学と社会の関係、そして社会の未来を考えるきっかけづくりを行いました。

開催に際しては、函館内外の多くの方々のご支援・ご協力を頂きました。特に、大学・研究機関・企業・行政組織・公共施設をはじめとする、様々な地域組織の連携協力により充実した内容となりました。私たちは、引き続き、函館に暮らす方々、観光に関わる方々、社会貢献を考える方々、科学技術の研究や産業に関わる方々、教育に関わる方々、アーティストの方々ほか、多くの方々と協働していきたいと考えています。

はこだて国際科学祭2011は「健康」をメインテーマに2011年8月20日(土)から8月28日(日)を主会期として実施します。

## 02. はこだて国際科学祭2010実績



函館市内3地区と路面電車の8会場



路面電車らっくる号に掲載されたラッピング広告



北海道新聞広告版のプログラムと会場配布用の科学祭クリアファイル

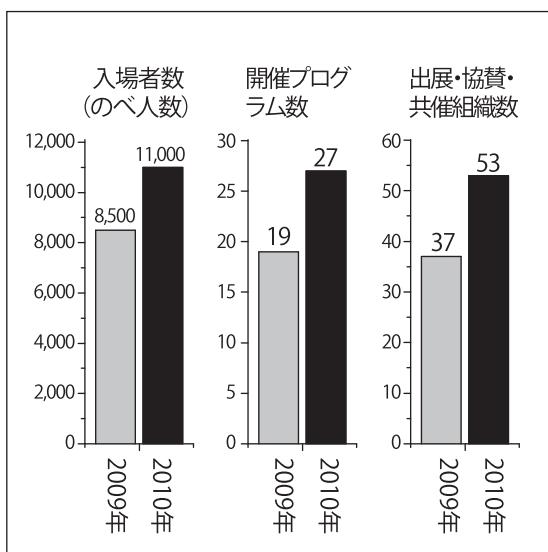
### 2-1 入場者数, イベント数, 広報

人口28万人の函館市において、前回を超える多数の方にお越し頂きました。

データ:

- 入場者数 のべ11,000人
- 27プログラム, 77イベントの実施
- 函館市内3地区 路面電車(左図) および市内図書館
  - 【西部地区】8月21～29日 のべ2,100人 入場  
・函館市地域交流まちづくりセンター
  - 【五稜郭地区】8月21～24日, 26～29日 のべ3,600人 入場  
・函館市中央図書館 ・五稜郭タワーアトリウム  
・函館市総合保健センター ・函館市青年センター
  - 【湯の川地区】8月29日 のべ2,900人 入場  
・函館市民会館 ・函館市営熱帯植物園
- 【路面電車】8月22日, 25～27日 のべ100人 入場  
・函館市電 貸切電車アミューズメントラム
- 【関連図書の展示】6月29日～9月14日 のべ2,500人 入場  
・函館市中央図書館 ・公立はこだて未来大学情報ライブラリー  
・函館工業高等専門学校図書館 ・函館大学図書館  
・北海道教育大学付属図書館函館館 ・北海道大学水産学部図書館  
・ロシア極東国立総合大学函館校図書室
- 各プログラムへの出展・共催・協賛組織数 53  
(内訳) ・行政組織 7 ・大学・研究機関 11  
・小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校 8  
・企業 7 ・NPO団体 4 ・個人 4 ・その他団体 12
- 路面電車での広告掲載 1ヶ月間
- プログラム発布数 13万部  
・北海道新聞広告特集として制作、函館地域の購読者に全戸配布
- チラシ発布数 5万部  
・函館市内の小学校, 中学校, 高等学校向けに配布
- マスメディアでの取り上げ ※確認分  
・新聞掲載数 49件 (道南圏46, 北海道3)  
・テレビ NHK(北海道, 函館), STV(函館), NCV函館センター  
・ラジオ HBC(函館), FMいるか(函館)  
・情報誌, 広報誌等での掲載 11件
- 特別番組 なべ先生のワクワク実験しまSHOW  
はこだて国際科学祭スペシャルの放送  
・ケーブルテレビNCV函館センターでの放送(加入3万戸超)  
・15分間×2回シリーズの番組  
・2ヶ月間にわたりのべ120回放送
- ブログ, ホームページ, twitterでの取り上げ ※確認分, 関係者含む  
・個人, 団体のブログでの取り上げ 94件  
・その他ホームページでの取り上げ 17件  
・twitter / ハッシュタグ #kagakusai での発信 93ユーザー, 600件超

## 02. はこだて国際科学祭2010実績



2009年, 2010年の入場者数他の比較



『ドナルド・ワークショップ』のスタッフ達



サイエンス・ダイアローグ(対談型講演会)で語る料理人, 深谷宏治氏

### 2-2 前回からの広がりとテーマと関連した展開

2回目となった2010年は五稜郭地区を重点化し, 2009年よりも会場数, プログラム・イベント数, 出展組織数が増加しました。規模の拡大に伴い, 入場者数も増加しました。(左図)

また, テーマの食と関連した連携で多くのプログラムを展開しました。その一部を紹介します。

#### ■ 'おいしく、食べる'の科学展

メインの展覧会は, 日本科学未来館(東京・お台場)で開催され反響を呼んだ, 先端科学技術で捉えた食に関する展覧会の巡回展を開催しました。

#### ■ 企業と連携してのプログラム

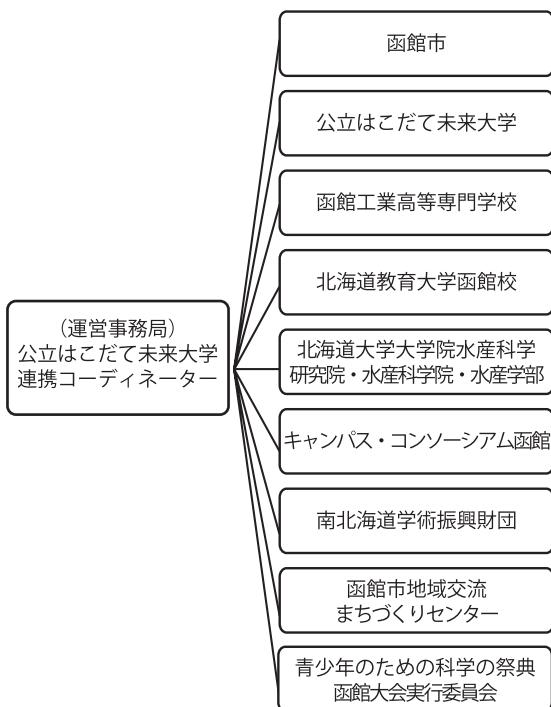
- ・サイエンスライブ2010[ビールを科学し、JAZZを味わう]  
(サッポロビール株式会社)
- ・「水とペットボトルのヒミツを探るクイズ電車の旅」に出発進行!  
(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)
- ・『ドナルド・ワークショップ』へたべることについてかんがえよう～  
ドナルドの食育教室  
(日本マクドナルド株式会社)
- ・太陽電池博士になろう!  
(三洋電機株式会社)

等, 企業のCSR活動と連携したプログラムを実施しました。

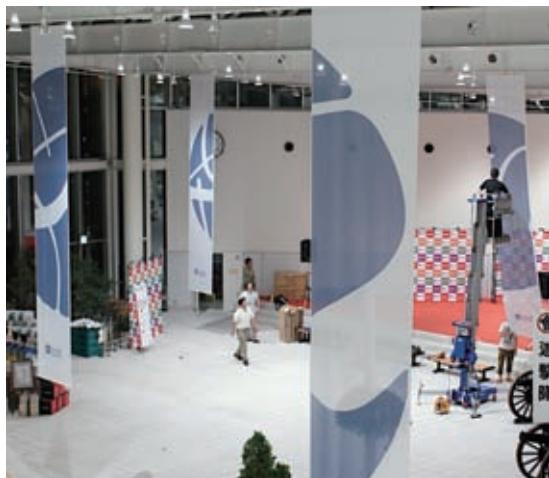
#### ■ 食と関連しての地域連携

- ・料理人をゲストに招いての講演会, サイエンスカフェ  
(函館で「バル街」「世界料理学会」を手掛ける深谷宏治氏)
- ・料理に関する実験教室キッチンサイエンス  
(食物栄養学科を持つ函館短期大学が協力)
- ・食に関する科学技術の出展があった科学屋台  
(北海道立工業技術センター, 函館工業高等専門学校他)
- ・市立函館保健所と連携したプログラム実施  
(市立函館保健所に関連する食育講演会や調理実習等)
- ・図書館連携による食と科学に関する図書展示  
(函館市中央図書館, 市内高等教育機関の図書館が参加)  
等, 地域の様々な組織との連携協力でプログラムが充実しました。

## 03. 実施組織「サイエンス・サポート函館」



サイエンス・サポート函館組織図



上:サイエンス・サポート函館実行委員会 下:実行委員等による会場設営

はこだて国際科学祭の実施には実行委員会組織「サイエンス・サポート函館」があたっています。函館市内の高等教育機関、行政、市民団体等が参画し、公立はこだて未来大学が運営事務局を務めています。2010年度まで、独立行政法人科学技術振興機構地域の科学舎推進事業地域ネットワーク支援を受けて活動しています。

### 【サイエンス・サポート函館実行委員会(2010年4月)】

#### ■ サイエンス・サポート函館代表

- ・美馬のゆり(公立はこだて未来大学)

#### ■ アートディレクター

- ・高田傑(東京藝術大学)

#### ■ コーディネーター

- ・金森晶作(公立はこだて未来大学)

#### ■ はこだて国際科学祭ディレクター

- ・木村健一(公立はこだて未来大学)
- ・渡辺儀輝(青少年のための科学の祭典函館大会 実行委員会)

#### ■ はこだて科学網担当

- ・小林淳哉(函館工業高等専門学校)
- ・本村真治(函館工業高等専門学校)

#### ■ はこだて科学寺子屋担当

- ・田柳恵美子(公立はこだて未来大学)
- ・渡辺保史(北海道大学高等教育推進機構)

#### ■ 参加機関担当

- ・川手直樹(函館市、南北海道学術振興財団)
- ・長谷山裕一(函館市、南北海道学術振興財団)
- ・松塚康輔(公立はこだて未来大学)
- ・寺崎皇紀(公立はこだて未来大学)
- ・齊藤智詠(公立はこだて未来大学)
- ・松浦俊彦(北海道教育大学函館校)
- ・高橋是太郎(北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部)
- ・石井英紀(キャンパス・コンソーシアム函館)
- ・丸藤競(函館市地域交流まちづくりセンター)

## 04. はこだて国際科学祭2010の特色



移動する路面電車内のサイエンスショー「S列車で行こう！」



科学夜話では函館在住の留学生もゲストに招いた



サイエンストークで発表する高校生

### 4-1 はこだて国際科学祭の特徴的な試み

はこだて国際科学祭2010ならではの試みを紹介します。

#### ■ 科学をまちに出す

市民や観光旅行者が集う場所を会場に選びました。2010年は箱館奉行所の復元で話題を集めた五稜郭地区を重点化しました。同地区で実施したサイエンスショーや科学屋台、サイエンスクリー等は函館の地域住民と観光旅行者が共に楽しむ場となりました。

#### ■ 路面電車も会場に

新たな試みとして函館市電の貸切電車でサイエンスショーやクイズのプログラムを開催しました。

#### ■ 空間デザイン、ビジュアルデザインによる演出

祝祭を演出するため、アートディレクターを配し、デザインにも注力しました。

#### ■ 最先端の科学技術に触れる場

日本科学未来館からの巡回展や、三洋電機株式会社の太陽電池に関する教室など、最先端の科学技術の話題も扱いました。

#### ■ 函館の科学技術に触れる場

函館で科学技術に関わる人たちが多数出展しました。水産科学の分野を中心に、函館の科学技術に触れる場となりました。

#### ■ 専門家との気軽な対話

前回に続き、専門家と素人の市民が科学についてカフェで対話する科学夜話を5日間にわたり実施しました。

#### ■ 大人の時間、科学と音楽のライブ

前回に続き、大人に向けた企画としてサイエンスライブを開催しました。美味しいビールの科学と、プロジェクトシンガーMIZUHOのライブを楽しむ企画となりました。

#### ■ 高校生の真剣な発表の場

前回に続き、高校生の科学研究の発表会「サイエンストーク」を実施しました。日頃の研究成果の発表や議論を呼ぶ問題提起がありました。

#### ■ 学生の設営、運営への参加

多くの地元の学生が空間のデザインや会場設営、イベントの運営に関わる立場として参加しました。

#### ■ 子どもはやっぱり主人公

ともに10年以上に渡って開催してきた青少年のための科学の祭典函館大会や函館高専メカニズムフェスティバルなど、子供や家族向けのプログラムを多数盛り込みました。

## 04. はこだて国際科学祭2010の特色



ワークショップを通してアイデアを具体化



まちの中で科学に関連したクイズを出題



クイズのヒントを探しながら市場を歩くクイズラリー参加者

### 4-2 イベントレポート「サイエンスquizラリー」のつくり方

はこだて国際科学祭2010のプログラムから、具体例としてサイエンスquizラリーの様子を、企画の過程を含めてご紹介します。このプログラムは一般市民・学生が参加したワークショップと集中講義から生まれました。これらの講座は、はこだて国際科学祭を支える人材養成講座、はこだて科学寺子屋の活動として行いました。

#### ■ みんなのアイデアを科学祭に

一般市民、学生に広く参加を募って、科学祭のプログラムを考えるワークショップを2回実施し、アイデアを具体化していきました。

#### ■ まちあるき×力ガク

地域の商店街やデパート、資料館に協力を依頼し、まち自体を会場とした、まち歩きと科学クイズを楽しむツアー形式のプログラムに発展しました。

#### ■ 学生と市民の学びの機会に

プログラムの具体化は、函館市内高等教育機関の単位互換プログラム兼市民向け講座として実施した夏期集中講座で行われました。講座の中心となったまち歩きのフィールドワークでは普段何気なく歩いているまちの中で科学に関連した多くの発見がありました。市内の様々な大学に通う学生と市民の受講者がイベントのスタッフも務めました。

#### ■ 参加者満足度(スタッフ自称)No.1のプログラム

はこだて国際科学祭2010当日のサイエンスquizラリーのプログラムでは、訪問先の市場やデパートの店員の方にヒントをもらいながら参加者同士で相談し、クイズに答えていきました。中には、遠く本州から家族連れで参加したグループもありました。通常の観光スポット巡りでは体験出来ない、そして地元の人も知らない、科学とまち歩きの組み合わせを楽しみました。対象人数は小規模ながら、笑顔の絶えない参加者満足度の高いオリジナリティあふれるプログラムとなりました。

## 05. はこだて国際科学祭への出展方法



函館市営熱帯植物園での昆虫学習会に集まった子どもたち



三洋電機株式会社の出展による科学教室 太陽電池博士になろう!



サイエンスショー、山形大学は電動二輪車セグウェイに乗った研究者が登場

はこだて国際科学祭はサイエンス・サポート函館実行委員会が主導するプログラムの他、多くの方々の出展協力によって成り立っています。はこだて国際科学祭2010の例から出展の方法をご紹介します。

### 5-1 会場を用意頂いての出展・広報主体の協力

次のプログラムは、はこだて国際科学祭の一環として、会場をご用意の上で出展頂いたものです。

- ・簡単!親子でおやつづくり ほか、計3プログラム  
(市立函館保健所関連の企画)
- ・昆虫学習会  
(函館市営熱帯植物園による企画)
- ・はこだてLL文庫 (Hakodate Library Link Collection)  
(図書館連携のプロジェクトチームによる図書展示)

### 5-2 事務局が設定した個別の会場への出展

次のプログラムはサイエンス・サポート函館が設定した個別の会場にプログラムを提供頂いたものです。

- ・太陽電池博士になろう!  
(三洋電機株式会社の社会貢献活動)
- ・写真展「水中案内人の目線」ほか、計3プログラム  
(一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構による企画)
- ・サイエンスライブ2010 [ビールを科学し、JAZZを味わう]  
(サッポロビール株式会社の社会貢献活動)
- ・いすゞカフェ  
(個人によるカフェ出店)
- ・ともえ教材の出展企画  
(有限会社ともえ教材による科学教材の紹介)
- ・『ドナルド・ワークショップ』  
～たべることについてかんがえよう～ドナルドの食育教室  
(日本マクドナルド株式会社の社会貢献活動)
- ・「水とペットボトルのヒミツを探るクイズ電車の旅」に出発進行!  
(北海道コカ・コーラボトリング株式会社の社会貢献活動)
- ・函館高専メカニズムフェスティバル  
(1998年から行われてきた恒例イベント)
- ・青少年のための科学の祭典函館大会  
(1999年から行われてきた恒例イベント)

### 5-3 イベント集合型プログラムへ出展

イベント集合型プログラムに出展頂く場も用意いたしました。

- ・科学屋台2010、青年センター科学屋台  
(研究機関、博物館、大学、高専、NPO団体等による出展8ブース)
- ・サイエンスショー  
(大学や高専による出展)
- ・青少年のための科学の祭典函館大会  
(理科サークル、教員のグループ、企業や市民グループ等による出展約30ブース)

## 06. 収支報告

はこだて国際科学祭2010収支報告(一部見込み額を含む)

### 収入

費目	金額(千円)	備考
JST地域ネットワーク支援事業実施費 および一般管理費 充當	3,960	
公立はこだて未来大学 負担	1,126	
JSTイノベーションプラザ北海道 共催金	1,000	函館市青年センター会場開催プログラムの共催に対して
伊藤組100年記念基金 協賛金	100	S列車で行こう!の開催に対して
合計	6,186	

### 支出

費目	金額(千円)	備考
広報費	939	チラシ制作, 広告, ウェブ管理等
旅費	1,318	講師旅費, 打ち合わせ旅費等
会場費	156	会場使用料, 備品レンタル料等
謝金	454	講師, スタッフへの謝金
消耗品費	871	実験教室消耗品, 設営消耗品等
輸送費	864	展示物輸送, 実験備品輸送等
保険料	54	イベント保険, 展示物動産保険等
記録・報告書制作費	372	写真撮影, 報告書印刷等
その他経費	1,158	展示リース料等
合計	6,186	

## 07. ウェブサイトの紹介



サイエンス・サポート函館ウェブサイト

サイエンス・サポート函館のウェブサイトでは、はこだて国際科学祭のプログラムの他、過去の催しの報告、函館と函館近郊で予定されている科学関連イベントの情報、サイエンス・サポート函館が主催する講座やイベントのニュース、コーディネーターのブログ等を掲載しています。はこだて国際科学祭の最新の情報はウェブサイトでお知らせします。

[詳細はこちら]

**url** <http://www.sciencefestival.jp/>

## 08. はこだて国際科学祭を支える活動



函館高専「エネルギー ラボ」の自転車発電体験

### 08-1 はこだて科学網

通年の活動として、科学デモンストレーションの出前や、地域で行う科学イベントを通じたネットワーク作り、函館と近郊の科学関連情報の収集と発信を行っています。発電の実験体験を出来る可搬型展示「エネルギー ラボ」は函館工業高等専門学校を中心になって運用しています。

[詳細はこちら]

**url** <http://www.sciencefestival.jp/network/index.html>

### 08-2 はこだて科学寺子屋

はこだて国際科学祭をはじめとする地域の科学コミュニケーション活動を支える人材の育成講座と、講座を介したコミュニティづくりを行っています。はこだて国際科学祭2010ではサイエンス クイズラリーのプログラム案作りに取り組みました。なべ先生こと、はこだて国際科学祭ディレクター 渡辺儀輝が講師を務める科学実演講座も好評です。

[詳細はこちら]

**url** <http://www.sciencefestival.jp/school/index.html>



なべ先生こと、はこだて国際科学祭 渡辺儀輝ディレクターの科学実演

## 09. 今後の予定

---

### 2011年6月

はこだて国際科学祭2011プログラム発表

### 2011年8月20日(土)～8月28日(日)

はこだて国際科学祭2011 開催 テーマ:<健康>

### 2011年12月(予定)

科学祭2012キックオフ 開催

### 2012年6月(予定)

はこだて国際科学祭2012プログラム発表

### 2012年8月18日(土)～8月26日(日)(予定)

はこだて国際科学祭2012 開催

## 10. 連絡先リスト

---

### ■ 全体のお問い合わせ先

- ・金森晶作(かなもりしようさく)  
サイエンス・サポート函館コーディネーター  
公立はこだて未来大学特別研究員
  - url** <http://www.sciencefestival.jp/>
  - e-mail** info@sciencefestival.jp
  - tel** 0138-34-6527
  - fax** 0138-34-6383

### ■ はこだて国際科学祭ディレクター

- ・木村健一(きむらけんいち)  
公立はこだて未来大学教授
  - e-mail** kimura@fun.ac.jp
- ・渡辺儀輝(わたなべよしてる)  
青少年のための科学の祭典函館大会実行委員会
  - e-mail** w\_teru@mb.infosnow.ne.jp

### ■ はこだて科学網担当

- ・本村真治(ほんむらしんじ)  
函館工業高等専門学校准教授
  - e-mail** honmura@hakodate-ct.ac.jp

### ■ はこだて科学寺子屋担当

- ・田柳恵美子(たやなぎえみこ)  
公立はこだて未来大学特任教授
  - e-mail** tayanagi@fun.ac.jp

地区	8/21(土)		8/22(日)		8/23(月)		8/24(火)		8/25(水)		8/26(木)		8/27(金)		8/28(土)		8/29(日)	
	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20		
'おいしく、食べる'の科学展	A																	
科学夜話(サイエンスカフェ)	A																	
太陽電池博士になろう！	A																	
写真展「水中案内人の目線」	A																	
チョウザメ・シアター	A																	
函館国際水産・海洋都市推進機構の紹介	A																	
サイエンストーク	B																	
サイエンスショー	B																	
科学屋台2010	B																	
サイエンスライブ2010	B																	
簡単！親子でおやつづくり	B																	
北海道栄養士会函館支部主催 講演会	B																	
健康はこだて21講演会	B																	
サイエンス・ダイアローグ	B																	
いすゞカフェ	B																	
ともえ教材の出展企画	B																	
青年センター科学屋台2010	B																	
キッチンサイエンス	B																	
サイエンシアター	B																	
サイエンスクリエイター	B																	
はこだてLL文庫	B	※各図書館により異なります。																
ドナルド・ワークショップ	C																	
函館高専カニズム・フェスティバル	C																	
青少年のための科学の祭典	C																	
昆虫学習会	C																	
S列車で行こう！	S																	
「水とペットボトルのヒミツを探る クイズ電車の旅」に出発進行！	S	01.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20																

#### A 「おいしく、食べる」の科学展

日本科学未来館（東京・お台場）で開催され、大反響を呼んだ見学会の巡回展です。期日 8/21(土)～8/29(日)11:00～20:00(最終日は18:00まで)  
会場 函館市地域交流まちづくりセンター2階フリースペース 対象 子どもから大人まで 入場料 無料／企画制作 日本科学未来館

#### 太陽電池博士になろう！

クイズや実験を交え、実物を見て、触れて、体感して太陽電池博士になることができます。期日 8/28(土)【A午前の部】10:00～12:00【B午後の部】14:00～16:00 会場 函館市地域交流まちづくりセンター2階研修室  
対象 小学校4～6年生(保護者の参加はご遠慮ください) 定員 各回20名 参加費 無料／募集 科学祭HPにて先着順で受付中／協力 三洋電機株式会社

#### 函館国際水産・海洋都市推進機構の紹介

函館国際水産・海洋都市推進機構の取組についてパネル展示で紹介します。期日 8/21(土)～8/29(日)11:00～20:00(最終日は18:00まで)  
会場 函館市地域交流まちづくりセンター1階 対象 子どもから大人まで 入場料 無料／主催 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

#### チョウザメ・シアター

函館市臨海研究所で飼育しているチョウザメの様子をインターネットを通じてリアルタイムに上映します。期日 8/21(土)～8/29(日)11:00～20:00(最終日は18:00まで) 会場 函館市地域交流まちづくりセンター1階 対象 子どもから大人まで 入場料 無料／主催 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

#### 写真展「水中案内人の目線」

潜水ガイドたちは、自分の庭のような海中をどのように見つめているのか、ご覧下さい。期日 8/21(土)～8/29(日)11:00～20:00(最終日は18:00まで) 会場 函館市地域交流まちづくりセンター1階 対象 子どもから大人まで 入場料 無料／主催 ガイド会／共催 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

#### 科学夜話(サイエンスカフェ)

コーヒーを飲みながら、科学技術の専門家からお話を聞き、気軽に質問などして語らうひとときです。期日 8/22(日)14:00～16:30、8/23(月)・8/24(火)・8/25(水)・8/27(金)18:30～20:00 会場 函館市地域交流まちづくりセンター1階 Cafe Drip Drop 対象 一般市民(大人向け)

定員 各回20名程度申込必要、当日立ち見席あり 参加費 飲料代

募集 科学祭HPにて先着順で受付中 ●8/22(日) 田部井聰氏(独立行政法人農業生物資源研究所)「私たちが如何にして食糧増産を行ってきたか」/小林泰彦氏(独立行政法人日本原子力研究開発機構)「私たちが如何にして食料を安全に保存してきたか」※NPO法人くらしとバイオプラザ2協力によるバイオカブ ●8/23(月) メガ・ラクスミニ・スマーディン氏(北海道大学水産科学院)「メバチマグロと海洋環境の関連性」●8/24(火) 深谷宏治氏(レストランバスク)「パリ街と世界料理学会のサイエンス」●8/25(水) 福田覚氏(一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構)「海苔を飼う」●8/27(金) ドミニク・カスッジ・バゲン氏(公立はこだて未来大学)「新鮮と安全性」

### はこだて国際科学祭2010プログラム

#### 【はこだて国際科学祭2010の様子から】



「おいしく、食べる」の科学展の食品表示に関する展示



科学夜話(サイエンスカフェ) 福田覚氏「海苔を飼う」

**サイエンストーク**

高校生の科学研究の発表会を実施します。国際大会出場者も来函！科学祭の今後を期待させるセッションです。**期日** 8/21(土) 13:00～16:30  
**会場** 函館市中央図書館視聴覚ホール **対象** 高校生以上 **入場料** 無料 / 渡辺俄輝(市立函館高等学校) / 出演 遺愛女子中高専学部、大野農業高等学校、函館水産高等学校 / 特別出演 Intel ISEF ファイナリスト / 併催『NHK 教育テレビ「サイエンサー」の作り方』講演会 / 講師 村松秀氏(NHK エデュケーション科学健康部シニア・プロデューサー)

**サイエンスショー**

全国の科学館で絶賛される、科学の鉄人決勝進出の長嶋先生のショーや、化学体験・イカロボットが登場します。**期日** 8/22(日) 10:00～15:00  
**会場** 五稜郭タワー アトリウムステージ **対象** 子どもから大人まで **入場料** 無料 / 出演 長嶋淳氏、化学実験カー(山形大学)、イカロボショー(函館工業高等専門学校)

**科学屋台 2010**

函館市による水産加工技術の実験体験と、日本国内・世界の自由研究・科学コンクールの紹介ブースです。**期日** 8/22(日) 10:00～15:00  
**会場** 五稜郭タワー アトリウム **対象** 子どもから大人まで **入場料** 無料 / 出展 北海道立工業技術センター、NPO法人日本サイエンスサービス

**サイエンスライブ 2010[ビールを科学し、JAZZ を味わう]**

プロジェクトシスター MIZUHO のライブと、ビールの味覚センサーを体験しながら、美味しいビールの「コク、キレ、喉ごし」を科学的に考えます。**期日** 8/21(土) 17:00～19:00 **会場** 五稜郭タワー アトリウム **対象** 一般市民(未成年者は除く) **定員** 200名 **参加費** 無料※当日先着順にて受け付けます(整理券を配布)/主催(財)南北海道学術振興財團/併催 函館市・サッポロビール株式会社 ※ビールの試飲をされる方はお車での来場はご遠慮ください。

**簡単！親子でおやつづくり**

市立函館保健所との連携企画です。講話「おやつの与え方」、調理実習「子どものおやつ」**期日** 8/21(土) 10:00～12:00 **会場** 函館市総合保健センター2階第1健康指導室 **対象** 函館市内在住の小学1～3年生とその親 **定員** 40人(親子合わせて)※申込順 **参加費** 1人 200円/申込み・問合せ市立函館保健所健康づくり推進室(0138-32-1515)/主催 函館市食生活改善協議会

**『ドナルド・ワークショップ』  
~たべることについてかんがえよう~ドナルドの食育教室**

ドナルドと一緒に献立づくりやエクササイズにチャレンジ！楽しくながら、食べ物の役割と大切さを考えよう！**期日** 8/29(日) 12:00～13:00(開場11:30) **会場** 函館市民会館大ホール **対象** 小学校1～3年生とその保護者※お子様のみでの入場はできません。保護者は高校生以上の方 **定員** 1200名(含事前申込者) **入場料** 無料 / 協力 日本マクドナルド株式会社 / 入場整理券を10:00から函館市民会館大ホール入り口付近にて配布します(先着順)。小学校1～3年生と保護者からなる5名までのグループでお越しください。

**S列車で行こう！**

路面電車(アミューズメントトラム)内で開催される国内最高峰のサイエンスショーをお楽しみください！**期日** 8/25(水)、26(木)、27(金)1日2回運行乗車時刻：1回目 16:00、2回目 17:00 **乗降場所** 電停駒場車庫前 **対象** 小学校3年生以上の子どもとその保護者※保護者は高校生以上の方 **定員** 各回 10組 20名 **参加費** 無料 **募集** 申込必要。科学祭HPにて先着順で受付中/主催 北海道コカ・コーラボトリング株式会社/共催 函館市(福井県坂井市立三国中学校教諭) / 協賛 伊藤組100年記念基金

**北海道栄養士会函館支部主催 講演会**

市立函館保健所との連携企画です。演題「知的好奇心を刺激する子どもへの食育」**期日** 8/28(土) 14:00～16:00 **会場** 函館市中央図書館視聴覚ホール **対象** 一般市民 **定員** 100人※直接会場にお越しください

**参加費** 無料 / 講師 永井成美氏(兵庫県立大学) / 問合せ 市立函館保健所健康づくり推進室(0138-32-1515) / 主催 北海道栄養士会函館支部

**健康はこだて 21 講演会 若者よ！いまこそ「食事力」を。**

いかした街のいかした料理いかした健康づくりを教ります～市立函館保健所との連携企画です。保健所管理栄養士による講演と調理実習。**期日** 8/28(土) 10:00～13:00 **会場** 函館市総合保健センター2階第1健康指導室 **対象** 18歳～29歳までの市民 **定員** 30人※申込順 **参加費** 無料 / 申込み・問合せ 市立函館保健所健康づくり推進室(0138-32-1515) / 主催 函館市

**サイエンス・ダイアローグ(対談型講演会)**

『食の未来を函館から考える』  
函館在住の料理人である深谷宏治氏が、これまでの経験を踏まえ、科学技術の観点から食の未来について語ります。**期日** 8/21(土) 11:00～12:00 **会場** 函館市青年センター体育館 **対象** 一般市民(大人向け) **定員** 椅子席 40名程度※申込必要、当日立見席あり **参加費** 無料 **募集** 科学祭HPにて先着順で受付中

**いすずカフェ**

科学祭にあわせて青年センターにオープンするいすずカフェで、科学メニューを楽しめます。**期日** 8/21(土)～8/29(日) 10:00～18:00 **※8/25(水) 休館日、8/26(木) 11:00～12:30** は貸切となります。**会場** 函館市青年センター1階 **対象** 子どもから大人まで/主催 いすずカフェ

**ともえ教材の出展企画(科学のおもちゃ・理科教材の体験)**

科学のおもちゃや理科教材などを見て、触れて、体感出来る科学屋台が毎日青年センターに登場します。**期日** 8/21(土)～8/29(日) 8/25(水) 休館日、時間は日によって異なります。**会場** 函館市青年センター1階 **対象** 子どもから大人まで/主催 (有)ともえ教材

**青年センター科学屋台 2010**

身近なものを使った科学実験を体験できます。さあ、おもしろ実験をはしごしよう！**期日** 8/21(土) 10:00～16:00 **会場** 函館市青年センター体育館 **対象** 子どもから大人まで **入場料** 無料 / 出展 市立函館博物館、北水エイサンアシスト、函館工業高等専門学校、山形大学

**函館高専メカニズム・フェスティバル**

学生たちが作ったロボットの操作やレゴカーのレースなど、楽しい遊びがいっぱいです！**期日** 8/29(日) 10:00～15:00 **会場** 函館市民会館3階・展示室 **対象** 子どもから大人まで **参加費** 無料 / 主催 函館工業高等専門学校

**青少年のための科学の祭典 函館大会**

今年の科学祭のファイナルは、30の体験型実験のワンダーランド。お腹いっぱい、学んで・遊んで・科学して。**期日** 8/29(日) 10:00～15:00 **会場** 函館市民会館3階・小ホール **対象** 子どもから大人まで **参加費** 無料 / 主催 青少年のための科学の祭典大典実行委員会

**キッチンサイエンス** 薄荷御札 予約終了

アイスクリームづくりやダンプンの食感など身近な料理を科学します。

**期日** 8/21(土) 【A 午前の部】 10:00～12:30 【B 午後の部】 13:00～15:30 **会場** 函館市青年センター2階 調理室 **対象** 小学生とその保護者 / 定員に達しましたので募集は締切りました。/ 講師 尾嶋好美氏(サイエンスプラス)、畠井朝子氏・沼田卓也氏・猪上徳雄氏(函館短期大学) / 協力 函館短期大学

**サイエンスシアター「第 51 回科学技術映像祭」入選作品上映会**

一部作品では、製作プロデューサーをゲストに迎え、参加者と気軽に対話するサイエンスカフェを実施します。**会場** 函館市青年センター1階 いすずカフェ / 共催 函館市青年センター、JST イノベーションプラザ北海道 / 協力 いすずカフェ ●清酒のループ復活～菩提鏡復元プロジェクト～上映会 **期日** 8/21(土) 10:00～21:00(開場 18:30) **対象** 大人 **定員** 30人 **参加費** 飲料代 2,000円(お酒試飲料含む)※お車での来場はご遠慮ください。 **募集** 申込必要。函館市青年センター窓口で受付中●HTB生命の輝きスペシャルピンクリボンつながる～乳がんと生きて～上映会 **期日** 8/26(木) 11:00～12:30 **対象** 女性 **定員** 30人 **参加費** 飲料代 **募集** 申込必要。科学祭HPで先着順に受付中 / ゲスト 久津友紀氏(HTB北海道テレビ放送) ●入選9作品上映会 **期日** 8/28(土) 10:00～18:10 **対象** 子どもから大人まで **参加費** 飲料代 **募集** 申込不要。直接会場にお越しください。

**サイエンススクイズラリー**

ガイドと一緒に五稜郭地区を歩きながら、食と函館にまつわるクイズを楽しむツアーワーイベントです。**期日** 8/28(土) 13:00～14:30、15:30～17:00 **会場** 集合場所 函館市青年センター **対象** 子どもから大人まで(台代から五稜郭までゆっくりペースで歩ける方) **定員** 各回 20名 **参加費** 実費(施設利用料)100円程度 **募集** 申込必要。科学祭HPにて先着順で受付中

**はこだて LL 文庫(Hakodate Library Link Collection)**

函館市内の8図書館が食に関する本を展示します。**期日** 各図書館により異なります。**会場** 函館市中央図書館、公立はこだて未来大学情報ライブラリー、函館工業高等専門学校図書館、函館大学図書館、北海道教育大学付属図書館函館館、北海道大学水産学部図書館、ロシア極東国立総合大学函館校図書室、函館短期大学図書館(教育大図書館にて共同展示)

**昆虫学習会**

クロガタ、カブトムシなどの生態に関わるスライドショーと昆虫の観察学習を行います。**期日** 8/29(日) 10:00～12:00 **会場** 函館市當热带植物園 **対象** 小学生以上 **参加費** 植物園入園料 **募集** 申込必要。植物園(0138-57-7833)まで/講師 林原和哉氏 / 主催 函館エコロジークラブ

**予約状況・会場案内**

著作 浜田友世+宮武志保 SSH20100810 KLab@FUN [www.sciencefestival.jp](http://www.sciencefestival.jp)

**はこだて国際科学祭2010プログラム****【はこだて国際科学祭2010の様子から】**

「水とペットボトルのヒミツを探るクイズ電車の旅」に出発進行！



「キッチンサイエンス」のアイスクリームづくり

# はこだて国際科学祭2010ご協力者一覧

【五十音順、敬称略】

- ・Ana Luisa Valente Fernandes Rosa
- ・Dominic Kasjii Bagenda(公立はこだて未来大学)
- ・HBC函館放送局
- ・H O H理科サークル
- ・HTB函館支社
- ・JSTイノベーションプラザ北海道
- ・Mega Laksmini Syamsuddin(北海道大学)
- ・NCVニュースメディア函館センター
- ・NHK函館放送局
- ・NPOサポートはこだて
- ・STV函館放送局
- ・TVhテレビ北海道
- ・UHB北海道文化放送
- ・青山結(公立はこだて未来大学)
- ・明正仁(函館市文化・スポーツ振興財団)
- ・縣秀彦(国立天文台)
- ・秋元哲
- ・阿久津友紀(HTB北海道テレビ放送)
- ・朝日新聞函館支局
- ・アマチュア無線渡島支部
- ・天羽悦子(市立函館保健所)
- ・安東周作
- ・安藤菜穂子(日本科学未来館)
- ・遺愛女子中学高等学校化学部
- ・遺愛女子中学高等学校生物部
- ・遺愛女子中学高等学校地学部
- ・飯野智子(ホテルショコラ函館)
- ・石橋良(函館本町市場商業共同組合)
- ・石原永久(サッポロビール株式会社)
- ・一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構
- ・伊藤組100年記念基金
- ・猪上徳雄(函館短期大学)
- ・今井亜湖(岐阜大学)
- ・今井清介(株式会社今井保険事務所)
- ・遠藤みか
- ・大原智也(北海道新聞社)
- ・小川理子(パナソニック株式会社)
- ・小川真美(NPO法人日本サイエンスサービス)
- ・荻田麻子(日本科学未来館)
- ・沖玲子(日産科学振興財団)
- ・尾嶋好美(サイエンスプラス)
- ・渡島理科教育研究会
- ・小野武仁(北海道大野農業高等学校)
- ・ガイド会
- ・奥山優衣(NPO法人日本サイエンスサービス)
- ・加我等(日本通運株式会社)
- ・片原恭子(有限会社ビットアンドインク)
- ・加藤加奈女
- ・加藤隆幸(株式会社北海道アルバイト情報社)
- ・香取成彦(システムトーク)
- ・金田弘挙(サッポロホールディングス株式会社)
- ・川井公文(函館市経済部)
- ・雁沢夏子(遺愛女子中学高等学校)
- ・キャンパス・コンソーシアム函館図書館連携プロジェクト
- ・栗原史(サッポロビール株式会社)
- ・栗山恭直(山形大学)
- ・公立はこだて未来大学地域のためのイベント支援サイト構築/運用プロジェクト
- ・公立はこだて未来大学地域を活性化させるための公空間デザインプロジェクト
- ・公立はこだて未来大学事務局
- ・公立はこだて未来大学報道部
- ・公立はこだて未来大学1年生有志
- ・郷六優輝(有限会社ともえ教材)
- ・小坂徹(北海道函館水産高等学校)
- ・小島彩(三洋電機株式会社)
- ・小林将浩(化学オリンピック日本委員会)
- ・小林商店
- ・小林弘明(サッポロビール株式会社)
- ・小林泰彦  
(独立行政法人日本原子力研究開発機構)
- ・小松宏(日産科学技術振興財団)
- ・財団法人函館地域産業振興財団
- ・齊藤誠一(北海道大学)
- ・坂井正治(函館市営熱帯植物園)
- ・櫻井健治(函館商工会議所)
- ・佐々木康弘(函館市青年センター)
- ・佐々義子(NPO法人くらしとバイオプラザ21)
- ・佐藤貴之(北海道新聞社)
- ・佐藤理夫(市立函館博物館)
- ・申東煥(水産・海洋コーディネーター養成事務局)
- ・柴崎宣子(日本科学未来館)
- ・清水斉志(日本科学未来館)
- ・社団法人函館国際観光コンベンション協会
- ・杉本優(NPO法人日本サイエンスサービス)
- ・杉山滋郎(北海道大学)
- ・清野晃之(函館工業高等専門学校)
- ・仙石智義(有限会社ビットアンドインク)
- ・竹花郁子
- ・田辺大人(北海道大学)
- ・田部井豊(独立行政法人農業生物資源研究所)
- ・田村昌宏
- ・月僧秀弥(坂井市立三国中学校)
- ・辻喜久子(市立函館保健所)
- ・坪田陽一
- ・寺尾修一(五稜郭タワー株式会社)
- ・長尾英二(日本科学技術振興財団)
- ・長嶋淳
- ・永田麻衣子(函館市文化・スポーツ振興財団)
- ・中野豊(五稜郭タワー株式会社)
- ・七飯町
- ・七飯町教育委員会
- ・奈良好陛(日本マクドナルド株式会社)
- ・南部美砂子(公立はこだて未来大学)
- ・西川正一(北海道函館水産高等学校)
- ・西田惇(NPO法人日本サイエンスサービス)
- ・日本経済新聞社函館支局
- ・日本マクドナルド株式会社
- ・沼田卓也(函館短期大学)
- ・函館・青少年の夢と未来を育む会
- ・ハコダテ150+
- ・はこだて科学寺子屋集中講座受講者
- ・はこだて科学寺子屋ワークショップ受講者
- ・はこだて国際科学祭2010
- ・キックオフ・フォーラム参加者
- ・函館五稜郭ロータリークラブ
- ・函館市観光コンベンション部
- ・函館市企画部
- ・函館市教育委員会
- ・函館市小学校理科研究会
- ・函館市青年センタースタッフ
- ・函館市中学校理科教育研究会
- ・函館市文化・スポーツ振興財団
- ・函館市北洋資料館
- ・函館商工会議所
- ・函館新聞社
- ・函館本町市場
- ・函館山ロープウェイ(株)FMいるか
- ・畠井朝子(函館短期大学)
- ・花びしホテル
- ・林原和哉
- ・東出光嗣(公立はこだて未来大学)
- ・平田勇人(三洋電機株式会社)
- ・廣瀬弘司(函館市交通局)
- ・深谷宏治(レストランバスケット)
- ・福田覚(一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構)
- ・富士宗(日本科学未来館)
- ・舟生奈美(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)
- ・ブリティッシュ・カウンシル
- ・古西順二(株式会社丸井今井)
- ・北水サイエンスアシスト
- ・北斗市
- ・北斗市教育委員会
- ・北海道大野農業高等学校畜産加工班
- ・北海道新聞社函館支社
- ・北海道大学高橋是太郎研究室
- ・北海道函館商業高等学校サイエンス部
- ・北海道函館水産高等学校海洋技術科
- ・北海道函館水産高等学校水産食品科
- ・北海道函館中部高等学校科学部
- ・北海道松前高等学校
- ・ホテルテトラ
- ・洞内定治(道南撮影企画)
- ・堀川宏樹(日本マクドナルド株式会社)
- ・毎日新聞函館支局
- ・松本美紀(NPO法人日本サイエンスサービス)
- ・丸井今井函館店地下食品売場
- ・三浦拳(NPO法人日本サイエンスサービス)
- ・三上いすず
- ・三井由紀子(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)
- ・湊賢一(函館工業高等専門学校)
- ・三宅丈夫(株式会社学研教育出版)
- ・宮武志保(公立はこだて未来大学)
- ・宮原裕美(日本科学未来館)
- ・村松秀(NHKエデュケーションナル)
- ・元村有希子(毎日新聞社)
- ・八雲町立山崎小学校
- ・八雲養護学校
- ・柳原なほ子(インテル株式会社)
- ・山口大輔(パナソニック株式会社)
- ・山下裕司(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)
- ・山科直子
- ・吉田健二(北海道総合政策部科学IT振興局)
- ・吉田貴彦(北海道コカ・コーラボトリング株式会社)
- ・ハコダテ150+
- ・はこだて科学寺子屋集中講座受講者
- ・はこだて科学寺子屋ワークショップ受講者
- ・はこだて国際科学祭2010
- ・キックオフ・フォーラム参加者
- ・函館五稜郭ロータリークラブ
- ・函館市観光コンベンション部
- ・函館市企画部
- ・函館市教育委員会
- ・函館市小学校理科研究会
- ・函館市青年センタースタッフ
- ・函館市中学校理科教育研究会
- ・函館市文化・スポーツ振興財団
- ・函館市北洋資料館
- ・函館商工会議所
- ・函館新聞社
- ・函館本町市場
- ・函館山ロープウェイ(株)FMいるか
- ・畠井朝子(函館短期大学)
- ・花びしホテル
- ・林原和哉
- ・東出光嗣(公立はこだて未来大学)
- ・平田勇人(三洋電機株式会社)
- ・廣瀬弘司(函館市交通局)
- ・深谷宏治(レストランバスケット)

その他多くの皆様

---

はこだて国際科学祭2010実施報告書

2011年(平成23年)2月

発行:サイエンス・サポート函館 代表 美馬のゆり

編集:金森晶作

DTP :迎山美葉

お問い合わせ先

041-8655

北海道函館市亀田中野町116-2

公立はこだて未来大学内 サイエンス・サポート函館事務局

金森晶作 (かなもりじょうさく)

e-mail [info@sciencefestival.ac.jp](mailto:info@sciencefestival.ac.jp)

URL <http://www.sciencefestival.jp/>

TEL 0138-34-6527 FAX 0138-34-6383

---

はこだて国際科学祭2010実施報告書  
サインス・サポート函館

